

# 体験することの大切さ

Y 大学：経済学部・経営学科・3 年

期 間: 令和 5 年 8 月 21 日～23 日 (3 日間)

今回、私は物流サービスを提供する企業のインターンシップに参加しました。参加した目的としては、物流業界や事務職の仕事を実際に目で見て体験し、理解を深めたかったからです。3 日間という短い期間でしたが、活動を通して多くのことを学ばせていただきました。

1 日目は、会社説明や先輩社員を交えたグループワークがありました。会社説明では、取扱商品や部署、職種ごとの仕事内容について説明していただきました。インターンシップ先の企業については事前に調べていましたが、より詳しいお話を聞くことができ、あらためて会社の強みや魅力を知ることができました。また社長からのお話では、会社選びのポイントなど就職活動に関するアドバイスもいただき、とても参考になりました。

グループワークは、与えられた課題に対してグループで1つの答えを導くという内容でした。話し合う際、先輩社員の方にリードしていただく形になり、積極性に欠けてしまったと感じています。主体的に取り組む姿勢が自分には足りていなかったと反省しており、改善していこうと思いました。

2 日目、3 日目は、社員の方が実際に働かれている現場を見学したり、総合職の物流事務の仕事を体験したりしました。現場見学では、取扱商品である石炭やバイオマス燃料、塩といった原材料が船から保管場所まで運ばれる過程や、会社が保有している倉庫への荷物の搬入作業等を見させていただきました。実際の現場を見ながら1つ1つの見学場所について丁寧に説明していただき、大変興味深いお話を聞くことができました。また強みだけではなく、現在抱えている課題などについても教えていただき、物流業界や会社への知識を深めることができました。

物流事務の仕事体験では、陸運部の乗務員に渡す輸配送指示書や業務部の B/L 作成を体験させていただきました。書類作成では、何をいつまでに、どのくらい、どこに運ぶのかという配送に重要な情報を取り扱います。そのため、ミスをしてしまうと配送トラブルが生じて、関係者に多大な迷惑をかけてしまいます。そして、これらの書類は1日に複数処理しなければならないため、1つ1つを早く正確に処理することが求められます。実際に作業をしてみて、自分にもできるようになるかという不安を感じました。けれども、早いうちからそのような責任が伴った役割を任せただけの分、やりがいのある仕事だとも思いました。実践的なワークを通して、希望職種である事務の仕事がどのようなものなのか体験することができてよかったです。

これらの3日間の活動では、普段の生活では経験できない貴重な体験や事業スケールの大きさに圧倒されてばかりでした。しかしながら、先輩社員の方から仕事の大変さや楽しさ、やりがいなどを聞いて、働くことへのイメージをより鮮明にできたと思います。インターンシップに参加したからこそ聞ける働く人たちの生の声や会社の雰囲気を知ることができたのでよかったです。このインターンシップで得た経験や学びを生かして就職活動を頑張っていきたいと思います。

ご多忙の中、ご指導いただきました担当者様および会社の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

# 私がインターンシップに参加して得られたこと

S J院大学：人文学部・観光文化学科・3年

期間：令和4年9月7日～9日（3日間）

私は、事務職に就職したいと考えています。今回は、実際に総務や経理の事務業務を体験してみたいと思い、S交通株式会社での3日間のインターンシップに参加させていただきました。

インターンシップに行くまでの私のS交通株式会社のイメージは、「バス会社」でした。しかし、インターンシップを通してそのイメージが大きく変わりました。S交通株式会社では、バスの運営だけでなく、生命保険や不動産、航空事業など様々な事業を展開しています。

この3日間を通して、総務・経理部門、自動車部門、生命保険部門、不動産・建設部門、航空事業部門の5つの部門をそれぞれ見学させていただき、幅広く業務を体験することができました。自分には事務職が向いている、と視野が狭くなっていたため、多くの部門について学ぶことができたことは、私にとってとても貴重な経験になりました。

私が特に印象に残ったのは、航空事業部門の業務です。山口宇部空港まで行き、実際に働いている様子を見せていただいたり、業務内容について説明をしていただきました。搭乗の手続きから機内への誘導、手荷物の受け取り、電話対応など様々な仕事があることを学びました。

空港での業務は、私が想像していた以上に忙しく、様々な場所に気を配りながら臨機応変に対応するということがとても大切だと感じました。また、飛行機に荷物を積み込む際、チェックした数と1つでも合わなければ1から手作業で数え直さないといけないため、予定通りにフライトが行えない場合もあることを知りました。お話を聞いて感じたことは、社員一人ひとりが誇りを持って働いていて、大変な仕事だからこそやりがいを感じられる職業であるということです。私も、自分がやりがいを感じられるような仕事に就けるように、企業研究はしっかり行っていきたいと思いました。

また、私は「働く」ということへの実感があまり湧かなかったのですが、今回のインターンシップで、働く上で大切なことや、社会人としての常識も学ぶことができよかったです。

どの部門に限らず大切だと思ったことは、コミュニケーション能力と協調性です。会社は自分ひとりで動かすことはできません。そのため、他の人と情報を共有したり協力しあって、よい人間関係を築く力、周りとの連携することが必要であると感じました。

また、社会人として常に責任感を持って行動しなければならないということも改めて考えさせられました。特に総務部では、お客様へのお茶出しや接客、電話対応など外部の方とのやり取りも多いため、より責任を感じる仕事だと思いました。その他にも、その場に応じて臨機応変に対応する力や、わからないところは自分から積極的に質問する行動力など、私にはまだまだ足りてない部分が沢山あると感じたので、これから意識しながら成長していけるように頑張っていきたいと思います。

今回インターンシップに参加して、3日間という短い期間でしたが、ここでしか得られなかった多くのことを学ぶことができ、とても勉強になりました。

今回のインターンシップで学んだことを、今後の大学生活や就職活動の際にしっかり役立てていきたいです。

# 実際に航空業務を見学して

B大学：文学部・人文学科・2年

期間：令和2年8月24日～28日（5日間）

この5日間は、私にとってとても貴重で、今まで経験したことのないような体験をさせていただきとても有意義なものになりました。インターンシップではグランドスタッフの業務だけではなく、運航支援や貨物など空港での様々な仕事を見学することができ、飛行機を飛ばすために多くの人たちが関わっていることを知り、チームワークが欠かせない仕事だと感じました。

一日目と二日目は主にカウンター業務を見学させていただきました。カウンターではチケットの発券、お客様の荷物の預かり、予約などたくさんの業務がありましたが、社員の皆様がお客様一人一人親身になって対応されている姿を見てさすがだなと思いました。そして実際に航空券の発券を練習でやらせていただきましたが、パソコンに書いてある内容がとても多く難しかったです。これを素早く対応できているグランドスタッフさんはすごいなと身をもって感じました。

三日目はグランドハンドリングのお仕事を見学させていただきました。マーシャリング、手荷物や貨物の搭載、プッシュバック、PBBなどたくさんの仕事がありました。いつもは乗っているだけの飛行機をグランドハンドリングの立場から見ると全く違う世界が広がっているなと思いました。このグランドハンドリングという重要な業務がなければ飛行機は飛ばされないということを知り、責任感のある業務だと身をもって感じました。

四日目は、ゲート業務を見学させていただきました。羽田空港から到着されたお客様のお手荷物の受け取りを案内し、その後すぐに宇都空港から羽田空港へ出発されるお客様の搭乗手続きをして、お見送りをさせていただきました。予定通りの時間にお客様を飛行機に案内しなければならないとても重要な業務でした。

五日目は、旅客責任者、運航支援、空港ビルの見学をさせていただきました。中でも空港ビルの見学で普段は入れない、上級のお客様専用の待合室に入れさせていただいたことや、今は使われていない国際線のターミナルを紹介していただいたことが記憶に残っています。

この5日間のインターンシップで様々な方と関わらせていただき、多くの事を学びながら貴重な体験もさせていただきました。また、このインターンシップで、以前に増して空港で働きたいと強く思うようになりました。これから就職活動に向けてグランドスタッフの方から聞いたアドバイスや意見を参考にさせていただきながら、自分の夢に向かって精一杯努力していきたいと思います。

# 「山口県で就職することに対する意識の変化」

KJ大学：文学部・史学科・3年

期間：令和元年9月9日～13日（5日間）

U株式会社さんに行かせていただくことになったきっかけは、物流に興味があるという理由でありました。ですので、当初の目的は、U株式会社さんがどのように物流を担っているのか、そこで働いている方々がどのような気持ちで働いているのかを知ることでした。実際にインターンシップ生として行かせていただくと、物流、海運に関することなどをとても丁寧に教えてくださった上に、色々な役割を担っている方々のお話を聞かせていただく時間を設けて頂けたので、当初の目的は完璧に果たすことができました。ですが、今回のインターンシップで一番感謝しているのは、山口県で働くという私のイメージを大きく変えていただいたことです。

失礼を承知で述べさせていただくと、今回のインターンシップ前の山口県で働くことへの私のイメージは、小さな世界で働くようなイメージでした。しかし、U株式会社さんがおこなう仕事は、保有船舶の運航管理であったり、外国船の入港スケジュール確認や、必要機関への連絡であったりと、山口県を離れた、外の世界ともつながる仕事であり、私のイメージは全くの偏見であったことを知りました。これらの経験は、山口県内であっても、広い世界とつながっていて、自分がやってみようと思えばできないことはないのかもしれないと、希望が持てる経験となりました。

また、今回のインターンシップで感じたのは、山口県の人々の人柄の良さです。もちろん、大学進学以前は山口県で育ってきているため、山口県の人々の穏やかでまじめで優しい人柄は実感していましたが、一度他の地域に出てから戻ってくると、改めて、山口県の人々の温かさを感じました。お仕事の邪魔をしてしまうはずのインターンシップ生の私に対して嫌な顔をされる方は誰もおらず、「もしあなたが直接的にこの職業に関わらなくても、いつか、何かで役に立つかもしれないから」と一から丁寧に教えてくださり、私の小さな質問や疑問にも細やかに答えてくださいました。経験不足で、物事を知らない若者である私に、多くの経験をさせてくださろうとする心遣いを感じ、本当に幸せな体験となりました。

インターンシップ参加以前から、山口県に戻って就職したいという気持ちはありました。ですが、他の都道府県でも魅力を感じるなどあり、悩みが付きませんでした。今回のインターンシップを通して、私が想像していた以上に山口県は大きな世界とつながっていて、山口県に戻りたいという気持ちを深めてくれる良い経験となりました。今後は、お世話になったU株式会社の方々への感謝を忘れず、今回の経験を活かした就活を行っていきたいと思っています。

# 航空業界で働くということ

F大学：法学部・法律学科・3年

期間：平成30年8月20日～24日（5日間）

この5日間は、私にとってとても貴重で素晴らしく有意義なものになりました。私は元々、“飛行機”、“旅客機”という乗り物が好きで、小さなころから週に1度以上は福岡空港へ出掛け、展望デッキから何時間も飛行機を眺めたりするような子供で、20歳になった今でも、暇を見つけては空港に行ったり、空を飛ぶ飛行機を見つけてはフライトレーダーで調べるほど飛行機が好きで、今回、空港でのインターンシップの募集を見て、すぐに応募させていただきました。

初日は、一通りのながれを確認したうえで、羽田空港から到着されたお客様をお出迎えして、お客様が預けられたお手荷物の受け取りを案内したり、タグを回収したり、逆に羽田空港へ出発されるお客様の搭乗手続きをして、お見送りをしたりなど、グランドスタッフの仕事内容を体験させていただきました。普段はもちろん接客される側の立場なのでとても新鮮でした。

2日目から最終日まで、私のグランドハンドリングの業務がしたいという身勝手なわがままを快く受け入れてくださり、4日間、グランドハンドリングの業務を体験させていただきました。宇部空港は、ANAさんの飛行機は、1日に往復6便ということもあって、4日間の中で飛行機というものについての知識や飛行機の到着から、出発までのグランドハンドリングの業務の一連の流れをたくさん教えて頂きました。教えて頂くだけでなく、実際にお客様からお預かりしたお手荷物や、空輸荷物を飛行機や貨物コンテナに詰め込む作業などを体験させていただきました。

また、ANAの整備士さん、スターフライヤーの整備士さんにも、飛行機の仕組みや航空法によって定められていることなどを沢山教えていただきました。使用する道具なども飛行機の機種によって一つひとつ、細かく分かれていたりして、飛行機というものはとても繊細で機密なものだとすごく実感しました。ひとつの飛行機を飛ばすのには、また定刻通りに飛ばすのには想像以上にたくさんの方の労力があってこそであると凄く痛感させられました。

いつもは見ているだけ、乗っているだけの飛行機をグランドハンドリングの立場からは全然違う世界が広がっていることに気付かされました。

この5日間のインターンシップは、航空業界で働きたいという将来の夢という形だけで私の中に存在していたものが、凄く現実的に近づけることが出来たとても有意義なものとなりました。S株式会社航空事業部の方々へは、お忙しい時間を削って私を含め4人を丁寧にそして優しくたくさんの方の事を教えて頂いたことは本当に貴重で来年に迫った就活の前に、とても有意義な時間を過ごすことができました。また山口県インターンシップ推進協議会による補助金の制度がなければ実現しなかったであろう私の夏のインターンシップ。

山口県インターンシップ推進協議会、S株式会社航空事業部の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、就活に向けて気持ちを高め、納得のいく就活ができるように精進していきたいと思っております。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

# 視野を広げる

S J 大学：人文学部・観光文化学科・3年

期間：平成 29 年 8 月 28 日～30 日（3 日間）

今回のインターンシップに参加した目的として、高校の選択授業、そして3年前期の授業で国際ビジネス論を受講し、貿易について興味を抱きました。授業では主に文字や写真で説明していたため、あまりイメージが湧かず、実際に現場等で貿易がどのように成立しているかを知りたいと思いインターンシップに参加しました。

学科が観光文化学科であるため、物流について関わることはありませんでしたが、生活している身の回りの物は初めからその場にあったものではなく、様々な人が関わりその場所まで物が流れてきたと知ることができ、物流業界に面白さを感じました。また、物流が止まると日本や世界が回ることが不可能になり、生きることが非常に苦しい状況になります。それだけ“物流”の仕事が日本や世界にとって重要な仕事だということをこのインターンシップを通して強く感じました。

インターンシップの際に、現場に連れて行っていただき、外国船が日本に到着する瞬間や到着した外国船からコンテナを日本の陸地に降ろす瞬間、保税地域、税関など様々な場所を見ることができました。全ての現場が新鮮で下関という身近で貿易が成立していることが未だに実感できません。最終日に輸入の申告書作成を教えていただきながら作成しました。この1枚の申告書は1枚紙であるが、高額の取引に関わるので、間違えてしまうことはできない業務で、確実に気を抜くことはできない仕事であると感じました。しかし、自分が作成した申告書で貿易が成立すれば、達成感ややり切った感を感じることができ、業務に対して、自分に少しずつ自信も持てるようになる仕事だと感じました。そして、物流業界となると難しい用語も多々出てきて、話についていくことが大変であったことが印象強いです。授業で出てきた用語もありましたが、仕事の話になると業界用語で話すため、全ての用語の意味を理解しておかないと、スムーズに仕事を進めることができず、報・連・相も共有も確実にできないだろうと思いました。それだけ、業界用語の大切さを実感しました。

また、昔から海外と関わる仕事に興味がありました。今回業務体験をさせていただいた部署は輸入であったため、貿易に関わる書類は全て英語で書かれていて、海外と関わる仕事の難しさを実感しました。英語が好きで、外資系で働きたいと今までは簡単に思っていたのですが、外資系も含め全ての企業への考え方が変わりました。しかし、英語が好きならば、もっと英語の勉強をして力を伸ばすことも可能であることがわかりました。

今回参加したインターンシップで業界の視野が広がりました。ネットに書いていることだけでは知ることができない現場や業務について、文字だけでは伝わらないことも感じました。知らないことが知っているに変わること、自分の可能性を広げることにも繋がると思うので、今の知識だけではなく、就職活動を始める前までに今自分が知らないことも知って視野を広げたいと思います。